

MONEY

安心の設計

* 毎週木曜日に掲載します。

お便りは、kurashi@yomiuri.com
ファクス03・3217・9919

◆国の奨学金制度の主な内容

	給付型		貸与型		
	給付奨学金	第一種奨学金	第一種奨学金	第二種奨学金	
利息	—	無利息	無利息	年利3%上限	
家計基準	生活保護受給世帯や住民税非課税世帯、児童養護施設に入所している人など	4人世帯の場合、前年の家計収入の目安は747万円以下	4人世帯の場合、前年の家計収入の目安は1100万円以下		
学力基準	一定の学力要件を満たすこと	申込時までの高校などでの成績が5段階評価で平均3.5以上	学修意欲があり学業を確実に修了できる見込みがあると認められる、など		
申し込み方法	予約採用のみ		予約採用と在学採用		
貸付または貸与月額	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	
	国立大学	2万円	3万円	最高4.5万円	最高5.1万円
	私立大学	3万円	4万円	最高5.4万円	最高6.4万円

※給付奨学金は、第一種奨学金や第二種奨学金と併せての利用も可能
貸与型の家計・学力基準は予約採用の場合

◆自宅か下宿かで生活費は異なる



大学進学 学費をどうするか

夏休みに、子どもの進学について話し合う家庭は多いだろう。学費などに不安がある場合は、奨学金が選択肢になる。返済の有無など制度をきちんと理解したうえで上手に活用し、子どもの将来を後押ししたい。

(矢子奈穂)

「娘の大学進学を応援したいけど、家計に余裕はないし……」。山梨県のパート、A子さん(45)は悩む。会社員の夫(47)と高校2年の長女、中学3年の長男の4人暮らしで、世帯年収は約500万円。長女は東京の私立大学への進学を志望する。だが、家計は住宅ローンを抱え、長男の今後の教育費も必要だ。万が一に備え、約300万円の貯蓄には手をつけたくない。Aさんは奨学金を検討

アドバイザー

新美昌也さん



にいみ・まさや ファイナンシャルプランナー。1962年、静岡県生まれ。経済的な問題で高校を中退後、奨学金やアルバイトで大学に進学した経験から、高校などで奨学金に関する講演会を行う。共著に「これで安心! 入院・介護のお金」。

し始めた。だが、ファイナンシャルプランナーの新美昌也さんは、「まずは進学費用を見積もることが重要です」と話す。受験料や入学金など入学前に必要なお金と、学費や生活費といっ

た在学中にかかるお金だ。在学中の費用は、日本学生支援機構の2016年度調査が参考になる。それによると、アパートなどから通う大学生(昼間部)の年間支出額は、国立大学で約

170万円、長女の場合、250万円だが高さなどからが増えると思費用を確認さんは「親が困る子どもには奨学金の利よう」と話すは、同機構がの奨学金」だ131万人が返済義務がに加え、18年不要の「給付

奨学金 無利子